

科目区分	専門基礎分野	科目名	微生物学	対象学生	第1学年
		単位数(時間数)	1単位(30時間)	学期	第2学期
担当講師	院内講師				
科目目標	病理微生物の生態、感染経路、診断治療と感染予防対策について理解する。				
授業計画	<p>第1回 微生物学の概要 (講義)</p> <p>第2回 病原微生物による宿主への感染の成立機序 (講義)</p> <p>第3回 病原微生物の分類 (講義)</p> <p>第4～5回 感染源と感染経路 (講義)</p> <p>第6回 病原微生物の滅菌法、消毒法、感染防御方法 (講義)</p> <p>第7回 病原微生物に対する治療法、耐性菌とは (講義)</p> <p>第8～9回 微生物等に対する免疫反応、細胞免疫と液性免疫 (講義)</p> <p>第10～11回 細菌学各論、グラム陽性菌とグラム陰性菌 (講義)</p> <p>第12回 近年課題の感染症、輸入感染症 (講義)</p> <p>第13回 スピロヘータ、リケッチア、クラミジア、マイコプラズマとは (講義)</p> <p>第14回 各種ウイルス、真菌の特性 (講義)</p> <p>第15回 まとめ(講義)・終了試験</p>				
評価方法	筆記試験				
テキスト	系統看護学講座 微生物学 医学書院				
講師からのメッセージ	<p>人体に重大な影響を及ぼす病原微生物について、その基礎知識を学び、看護業務に役立つ知識を身に付ける。</p> <p>人と病原体の関わり、ウイルス、細菌、真菌、薬剤耐性、滅菌と消毒、皮膚の構造と防御機構、粘膜の構造と防御機構、食細胞とサイトカイン、胸腺、脾臓、リンパ組織、免疫系の細胞、抗原と抗体、補体、液性免疫、細胞性免疫、アレルギー反応、組織適合性抗原、炎症など、国家試験出題基準を確認し学習すること。</p>				